

第2回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウムを開催します！

復興庁では、福島国際研究教育機構（Fukushima Institute for Research, Education and Innovation、通称F-REI）、福島県等のパートナーと連携しながら、浜通り地域等において、民間企業等の最先端の知見や技術、ノウハウを活かした官民のパートナーシップにより、生活環境向上のための実証事業に取り組むプログラム「浜通り復興リビングラボ」を、今年度から開始いたしました（別紙1をご参照ください）。

リビングラボとは、生活の場を実験場としてイノベーションを実践するようなプログラムであり、このリビングラボを通じて、生活環境向上のための官民パートナーシップが浜通りに形成されることが期待されます。

市町村の課題説明に応じ、民間企業14社から12の実証事業のご提案があり、令和5年12月1日現在、7つの実証事業（民間企業9社、9市町村）が、市町村と民間企業のパートナーシップにより実施されることになりました（別紙2をご参照ください）。

リビングラボ実証事業の今年度の進捗状況や課題等を共有し、ハイレベル・セッションにおいて浜通り地域等におけるリビングラボの目指す方向性を参加者で議論するため、以下の通り、第2回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウムを開催します。浜通りの復興に向けた官民連携の取組にご関心のある多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和6年2月28日(水) 13:30～

会場：富岡町文化交流センター 学びの森

内容：・開会あいさつ

- ・官民連携の先進事例の紹介
- ・令和5年度「浜通り復興リビングラボ」実証事業の進捗状況（事例報告）
- ・ハイレベル・セッション「浜通り地域等におけるリビングラボの方向性」
- ・閉会挨拶

※プログラム詳細につきましては、後日、発表いたします。

【お申し込み方法】

参加希望の方は、下記の間合先まで令和6年2月9日（金）18時までにご連絡ください。
定員に達した場合、締め切りさせていただくことがありますので、お早めにご登録ください。

【お申込・問合先】復興庁原子力災害復興班

（まちづくり担当） 富澤、中村、守谷、田辺

TEL : 03-6328-0246 E-MAIL : g.machi.v5f@fukko.go.jp

浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

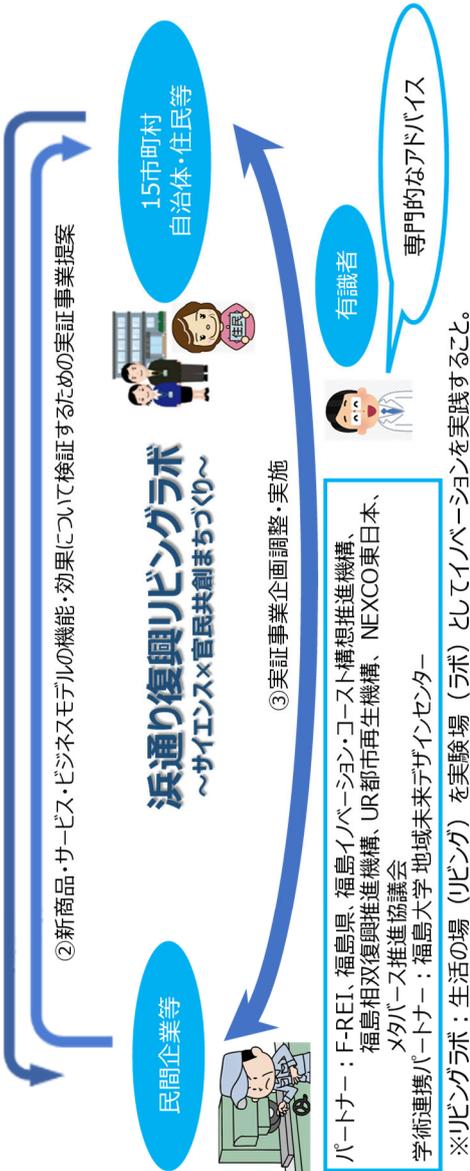
背景・目的

- ・福島国際研究教育機構(F-REI)が浜通りに立地することにより、国内外から研究者やその家族が浜通りに移住・定住することが想定され、浜通りでは、従来の住民や移住者のもとより、今後来訪する研究者のためにも**生活環境を向上**させていくことが期待される。
- ・F-REIにおいて、多くの実証事業が浜通り地域において実施されることとなり、**地元の実証事業受入能力の更なる向上**が必要。
⇒最新のサイエンスやテクノロジーを積極的に活用し、**住宅、医療、教育、交通、買物等の生活環境に係る地域課題の解決**につなげることをめざすとともに、**浜通り地域における実証事業受入能力向上**を支援するため、「浜通り復興リビングラボ」事業を実施する。

浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～

住む（住宅）、出かける（交通）、学ぶ（教育）、癒やす（医療）、楽しむ（買物・娯楽等）
と**いった生活環境分野で、産学官の協働のもと、実証事業の企画・実施**を行い、**地域における生活環境向上**につなげる。

①生活環境にかかると地域課題を説明



パートナー：F-REI、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、UR都市再生機構、NEXCO東日本、メタバース推進協議会
学術連携パートナー：福島大学 地域未来デザインセンター

※リビングラボ：生活の場（リビング）を実験場（ラボ）としてイノベーションを実践すること。

参加の主なメリット(自治体)

- ・民間企業の知見や財源を活用しながら、地域課題を民間企業と共に最新技術で解決する、**地元主体のまちづくり**を実現できる。
- ・未来のまちの姿に向け、地域住民が**新商品・サービス・ビジネスモデル**を使った**より良い暮らしを一足先に体験**することができる。
- ・実証から実装へ向けた展開を支援することにより、浜通りにおける**地域課題の解決**、ひいては**F-REI研究者受け入れ環境の向上**につなげられる。

参加の主なメリット(民間企業)

- ・地域住民が生活の中で抱える課題に即して、**新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発**を行うことができる。
- ・参加者募集や関係団体等との調整など、**受入自治体や復興庁、専門家の支援**が得られる。
- ・「福島復興」という**社会的意義のある目標**に貢献できる。
- ・技術的な課題について、**将来のF-REI研究との連携も視野**に入る。

R5年度スケジュール

- 8月：実証事業参加企業公募開始
8月8日 公募企業向け説明会
(地域課題共有)
8月19日 現地視察
- 9月：マッチング会議発表企業決定
9月19日 第1回シンポジウム
9月19日 マッチング会議
- 12月：実施プロジェクト決定・発表
実証事業企画調整
調整が整った事業から順次実施
(実施は次年度以降でも可)
- 2月：専門家による実証事業総評
2月28日 第2回シンポジウム

浜通り復興リビングラボ【マッチング結果(R5.12.01時点)】

(参考) 浜通り復興リビングラボ マッチング結果

社名		実証事業概要		実施自治体	
1	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 株式会社NTT-ME NTTインフラネット株式会社	3D都市モデルのまちづくりへの活用方策の検証 (富岡町)「夜の森地区」において3D都市モデルを用いたデータ基盤例を構築し、桜まつりの事前検討への活用を検討する。また、夜の森地区の復興まちづくりに寄与する活用の在り方を検証する。 (浪江町) F-REI門前町としてまちづくりを検討している地区において、3D都市モデルを用いたデータ基盤例を構築し、データ取得や管理方法などまちづくりに寄与する活用の在り方を検証する。		富岡町 浪江町	
2	株式会社博報堂	「ヒトとマチの動かし方」共創 地域公共交通デザイン実証事業プロジェクト 各自治体が抱える交通課題解決のために、現在の交通アセットを最大限有効活用した上でソリューションをカスタマイズし、公共交通事業者や住民と対話しながら地域交通をデザインするなど、各地の事情に応じた公共交通実証モデルを検討する。		相馬市 田村市	
3	株式会社URシステムズ	ChatGPTを活用した市民サービスの上 (空き家等照会対応サービスを事例として) 最先端のAI技術であるChatGPTを用いて、移住者による住宅についての問い合わせ対応の省力化を図るだけでなく、質問やその応答の分析を行うことで、市民サービス向上におけるChatGPTの有用性を検証する。		南相馬市	
4	株式会社ウェザーニューズ	災害被害情報収集システムの日常活用による安全・安心なまちづくり支援 LINEチャットボット機能を利用し、災害時に住民からの被害状況を収集し防災/避難活動を支援するシステムを日常から住民に活用して頂くなど、平常時から地域の安心安全に繋がる情報プラットフォームの構築について検証する。		浪江町	
5	株式会社DeNA	防災をテーマにした子どもたちへの先端教育、3Dアートワークショップの実施 先端技術に触れる授業、ワークショップを通じて、子どもたちに3Dアート作品を作ってもらい、避難場所等に配置・閲覧することによって、将来的に防災に役立つツールとして利用することができるのかを検証する。		いわき市 富岡町	
6	株式会社ゼンリン	ドライブレコーダー画像を活用した道路変化点（道路修繕必要箇所）の検知 タクシー、公用車等で取得したドライブレコーダー画像とゼンリンの保有する地図情報を活用することで、道路の変化点を効率的に検知し、道路メンテナンス業務量を削減する仕組みを検証する。		大熊町 双葉町 浪江町	
7	株式会社フジタ	ドローンを活用した山林測量、山林管理の生産性向上 現在人力で行われている山林管理における測量作業や樹種等把握の効率化を図ることを目的として、ドローンを活用した緑地管理手法が適用できるか実証する。		南相馬市 飯館村	

※R5.12.01時点のものです。現在調整中の案件が成立したら、追ってご報告します。

浜通り復興リビングラボ【マッチング結果 (R5.12.01時点)】

